

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
多摩丘陵グループ		(指定管理者名)公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。			
指定期間					
H28.4.1 ～ R5.3.31(7年間)					
2 施設名		3 収支(単位:千円)			
					公園別支出額
		項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		金額	金額	金額	
長沼公園、平山城址公園、小山田緑地、小山内裏公園、桜ヶ丘公園		収入計	348,353	357,880	324,737
		内 指定管理料	348,353	357,880	324,737
		内 利用料金		0	0
		支出計	328,101	352,218	322,246
		収支差	20,252	5,662	2,491
					長沼公園: 25,085 平山城址公園: 15,554 小山田緑地: 73,017 小山内裏公園: 101,975 桜ヶ丘公園: 112,470

4 管理運営の概要

○新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取組
・トイレや水飲み場に石鹸等を設置し、園内でのうがい手洗い消毒、咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保の呼びかけ等の対策を徹底しました。イベント開催や都民協働作業の際には、検温、接触確認アプリへの登録を呼びかけ、安全に実施しました。

○「新しい日常」の中で多摩丘陵の魅力を広げPRする取組
・多摩丘陵の公園キャラクター「たまきょうりゅう」を作成し、「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」等のイベントを中心に、顔出しパネル、缶バッジ、着ぐるみ等を展開し、多摩丘陵一体となった公園の魅力向上に活用しました。
・一部イベントにおけるWEB受付の導入や、NEWSCAST等の新しい媒体を使った広報を行うことで、時間や場所を限定せず、広く多くの方に多摩丘陵の魅力を発信し、遠方からの誘客等新たな利用を促進しました。
・多摩地区の公園、緑地に関わる社内外の関係者等が参加する「里山情報連絡会」を、令和4年度もオンラインで2回開催しました。ナラ枯れ被害の対策や生物多様性環境の活用等について、具体的な意見交換を行い、今後の取組への活用が期待できるとともに、参加者同士の連携を強化できました。
・公園の魅力を広げ発信するため、引き続きSNS等を活用した発信に力を入れました。Twitterの投稿を積極的にを行い、季節の草花や生きもの、都民協働活動、「里山パークビュー」等を紹介し、豊かな里山環境を多くの方に知っていただくことができました。

○新しい連携も含めた都民協働による生物多様性環境の保全、次世代への継承に向けた取組
・地域住民やボランティア団体と協働で進めてきた生物多様性保全に関わる取組は、参加人数や活動回数などがコロナ禍以前の状況に少しずつ戻り、出張講座の拡充や近隣小学校の総合学習への活用にも積極的に挑戦しました。
・令和3年度の外部専門家による第三者評価に基づき、平山城址公園の猿渡の池、小山田緑地の大久保谷戸、小山内裏公園の大田切北サンクチュアリ等の環境改善に取り組みました。保全作業は、新たに地域の学生や公募した公園利用者の協力を得て行い、その結果をSNS等で発信しました。
・引き続き地域住民の居場所づくりに取り組みました。小山内裏公園の「いきいき交流の集い」では、コンサート出演者が8グループに増え、特別支援学校の就労支援を再開し、地域とともに育むイベントとして拡充しました。また、八王子市の図書館、消防署と連携したパークライブラリーや地域のNPOと連携したお芝居遊びを初開催し、親子で楽しめる機会を提供しました。桜ヶ丘公園の「SATOYAMAアウトドアライブ」では、外部協働者の誘致を積極的に行って近隣住民の協力を得る等、地域で親しまれるイベントとして定着しました。
・豊かな里山環境を守り、伝えるため、近隣教育施設との連携にさらに力を入れました。小山内裏公園では、近隣小学校の総合学習で、雑木林の後継樹育成のプログラムを初めて実施しました。桜ヶ丘公園では、特別支援学校への環境教育への協力で、初めて近隣小学校と合同で生きもののすみか作りのプログラムを実施し、地域の子どもたちを育む公園としての役割をさらに推進しました。
・地域に残る稲作文化を伝える取組も継続しました。小山田緑地では、田んぼ活動に3年ぶりに小学生が参加し、昔ながらのお米作りの技能を伝えました。収穫祭も3年ぶりで開催し、地域の人々をつなぐ公園としての役割を果たしました。また、稲わらを活用した「わらない出張講座」を、近隣小学校の特別支援学級、近隣福祉施設に加え、初めて町田市の公園でも実施し、地域連携の輪が広がりました。

5 管理状況(維持管理)

◆丘陵地レンジャーを中心に、生物多様性の保全、調査等を継続しました。小山内裏公園では、外部専門家の助言に基づくサンクチュアリの環境改善を継続し、ゲンジボタルの最大発光数59頭を記録し、今後の観察会開催の検討に入りました。長沼公園や平山城址公園では、都民協働で外来種駆除等の保全活動を行い、その成果をガイドウォーク等に活用しました。

◆樹木管理では、引き続きナラ枯れ被害木の処理を行いました。カエンタケ発生に伴う安全管理を徹底し、小山田緑地や小山内裏公園ではQGISを活用してデータを蓄積しました。また、小山内裏公園や桜ヶ丘公園では、地域とともにサクラの後継樹育成を継続しました。

◆里山景観の一つ、竹林の管理も継続しました。小山田緑地では、グループ内職員の共同作業で竹林伐採を行い、公園協会独自の基準による「美しい竹林」を実現しました。また、発生材は、小山田緑地のクラフト教室で活用するだけでなく、小山内裏公園にも提供しました。

◆事件・事故が発生した際には、早期解決・復旧に努めました。9月の大雨で長沼公園の霧降の道で土砂崩落が発生した際には、速やかに通行止めを行い、現場復旧、二次被害防止措置を実施するとともに、東京都と協議しながら、安全な利用が確保されるまで十分な期間の経過観察を行った上で、通行止めを解除しました。また、小山田緑地では、夜間の焚火が多発したため、警察や消防と連携した対策や蓄光素材を活用した注意喚起、防火水槽の増設等により再発防止を徹底しました。

◆近隣住民や公園利用者から要望・苦情等が寄せられた際には、迅速かつ適切に対応を行いました。長沼公園では、公園への入口が分かりにくく、利用者が侵入してしまうとの近隣住民からの声を受け、地元自治会等と調整して園外に案内板を設置し、HPのマップを更新し、公園利用者にも近隣住民にも満足していただける解決ができました。

6 利用者アンケート結果
実施方法：公園内で調査票を配布・回収/QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
長沼公園	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8
平山城址公園	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8
小山田緑地	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6
小山内裏公園	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
桜ヶ丘公園	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7

7 入園者数の状況(単位:人)		分析
施設名	当該年度	
長沼公園	31,757	ボランティアと協働による生物多様性保全活動を継続し、その成果をガイドウォークやカタクリ観察会、Twitter等で活用しました。
平山城址公園	33,862	ボランティアと協働による生物多様性保全活動や「里山パークビュー」に配慮した維持管理を継続し、公園の魅力向上を図りました。
小山田緑地	487,849	園内の環境を再現したサービスセンター内外の展示や自由に参加できるクラフト教室等、誰もが公園を楽しんで利用できる工夫を行いました。
小山内裏公園	854,978	地域のNPOと連携した親子向けイベントや近隣大学生や小学校との協働によるサテライトサンクチュアリ作成など、新しい連携による取組を積極的に行いました。
桜ヶ丘公園	313,199	都民協働による雑木林管理や水辺環境改善、地元商工会議所と連携したサクラの後継樹育成を行い、地域に愛される里山環境の保全に取り組みました。
合計	1,721,645	



長沼公園

所在地：八王子市／開園面積：36.70ha

多摩丘陵をつなぐ裏山
変化に富んだ自然環境



多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう

霧降の道で土砂崩れ発生！安全な公園利用を回復するために



迅速な現場対応と情報発信

主要園路である霧降の道で、9月26日、豪雨が誘因したと思われる土砂崩れが発生。**速やかに通行止め措置**を行い、案内看板、HP、**Twitter**などにより、**う回路も含めて周知**を徹底。

二次被害を防ぐ事後対応で安全確保

東京都と協議を行い、**崩落土の迅速な撤去、仮設土留め、防水シート設置**を実施。施工後、**露頭の定点観察**を継続し、二次的土砂崩れの兆候が観察されなかったため、当初の予定どおり12月1日から通行を再開！

土砂崩れ直後

誰にでも分かりやすく周知

しっかり確認するぞ！

一部の園路が通行止めです

12月通行再開！

お客様の安全を最優先に！
焦らず経過観察を続けました

景観・眺望を楽しんでもらいたい「里山パークビュー」改善



景観を阻害する支障枝を除去

殿ヶ谷の景観、栃尾尾根の展望地から見た市街地の眺望、展望園地からの市街地の眺望の三つの「**里山パークビュー**」を守るため、支障枝の伐採や腐朽したロープ柵の補修などを実施。

要望に応じて

パークビューへのアクセスを改善！

栃尾尾根の展望地に向かう園路は、雨の時や寒い時期は表面がツルツルとなって危険。**どうかしてほしい、という公園利用者の要望に応じて、園内作業で発生した竹の間伐材で階段を設置！**

栃尾尾根
Twitterインプレッション **888**回



登りやすい階段にしよう



ボランティアと育み、伝えゆく、豊かな生物多様性環境



外来種オオブタクサとの格闘

丘陵地ボランティアとの協働で、外来種オオブタクサの除去作業を実施。種をつける前に根茎ごと抜き取る作業を計画的に行って拡大を防ぎ、貴重な在来種を中心とした生態系を維持。

同時に、殿ヶ谷の景観へと続く「里山パークビュー」の環境も向上。

絶滅危惧種を見つけて守る

希少種・注目種のモニタリング調査、保全作業も、丘陵地ボランティアと協働で、年間を通して計画的かつ変化を見逃さないように継続。

令和4年度は、トキホコリ（南多摩 絶滅危惧IB類・EN）の自生範囲の拡大に取り組み、これまでの**2倍の面積へ！**

巡回を兼ねたモニタリング調査では、これまで園内で見ることのなかったムカゴサイシン（南多摩 絶滅危惧IA類・CR）の自生地を確認。誤って刈られることのないよう、マキキングなどの保護対策を速やかに実施。



分け入っても分け入っても... オオブタクサの除去は大変！

もっともっと増やしたい！

大切に守っていきましょうね



トキホコリ

調査も、保全も、継続が力になる！

調査を続けていきましょう



ムカゴサイシン

講師は丘陵地レンジャー
近隣大学教授
そして、ボランティア



シロキクラゲ

豊かな生物多様性環境を
楽しみながら学ぶ観察イベント

「紅葉の長沼・平山城址を歩こう」では、東京農工大学の「フィールドミュージアム多摩」を同大学教授のガイドで特別に通り、二つの公園の緩やかにつながる生態系を実感。

「キノコ観察会」を同時開催し、生物多様性豊かな環境を丘陵地ボランティアが解説。

「カタクリ観察会」は雨天の為中止となったが、約3,000株のカタクリ群落を見ていただける公開期間を設け、長年に亘る保全活動について知っていただく機会を創出。



カタクリ公園地区 入口



平山城址公園

所在地：八王子市／開園面積：12.00ha

歴史ある自然公園
豊かな緑と水



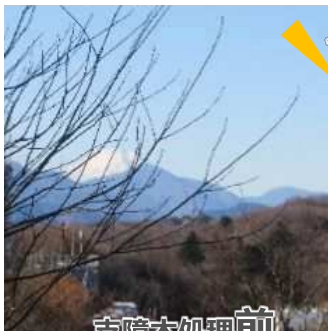
多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう

公園の誇り「里山パークビュー」を活かす樹木管理



展望広場から富士山を眺む

六国台、展望広場では眺望を阻害する中低木の伐採、支障枝剪定、下草刈りを行い、開放的な眺望を回復。



支障木処理前



支障木処理後

Twitter
インプレッション数
1,260!

猿渡の池では生物多様性に配慮して

猿渡の池では、外部専門家のアドバイスをもとに、多様な生きものが暮らしやすい環境を作るため、ヒイラギナンテン、イヌツゲを伐採。



チョウ類やトンボ類の好む
開放的な空間に!

3年ぶりに開催！ 歴史探訪ツアー「平山城址と野猿峠の謎を探る」



大河ドラマで注目！ 鎌倉時代の武将、平山季重ゆかりの地を訪ねて

文楽や歌舞伎で今なお人気がある「一谷嫩軍記（いちのたにふたばぐんき）」にも登場する武将、平山季重の居城跡や所縁のある社寺等を巡るツアーを実施。講師に古街道研究家の宮田太郎氏を迎え、長い歴史の中で育まれた平山城址公園の文化的価値を普及啓発。

新しい媒体で
広報実施!



NEWSCASTの紹介ページ



この地域に残る
歴史を初めて知りました!

講師の説明が
面白くて分かりやすい♡

参加者満足度
100%!

参加者12人

丘陵地ボランティアと取り組む生物多様性保全



大好きな公園のために力を合わせて頑張ります！

種をつける前に！適期に外来種駆除実施

丘陵地ボランティアの月2回の活動の中で、計画的に外来種のオオブタクサ等の除去作業を継続実施。事前に丘陵地レンジャーを始めとする職員から、除去する葉の特徴や作業の方法をしっかりと伝え、種をつける前に根茎ごと抜き取ることで、確実に除去。草地の環境や明るい林床など、在来種の生育しやすい環境を保全。



新たに発見した絶滅危惧種を守る！

年間を通じた希少種・注目種のモニタリング調査、保全作業も継続。令和4年度は、クロムヨウラン（南多摩 絶滅危惧Ⅱ類・VU）の新たな自生地を発見し、誤って刈られてしまわないようにマーキングするなど、速やかな保護対策を実施。

近隣大学と連携！ 長沼公園とつながるガイドウォーク実施



毎回好評！ 東京農工大学教授と巡るフィールドミュージアム見学

「紅葉の長沼・平山城址公園を歩こう」を実施。令和4年度も、東京農工大学「フィールドミュージアム多摩丘陵」の特別見学が参加者に好評。

大学側にも研究内容をPRできる機会を提供し、連携強化！



いつもは入れない場所を専門家の話を聞きながら見学できて大満足！

丘陵地ボランティアの活動とは？ 生物多様性保全の取組紹介

丘陵地レンジャーが丘陵地ボランティアと協力し、植物やキノコについての解説を実施。選択的除草や希少種のマーキング等、これまで取り組んできた保全活動の成果を見せながら、その意義を参加者に普及啓発。



参加者 **10** 人



小山田緑地

所在地: 町田市 / 開園面積: 44.43ha

田んぼと里山が織りなす
多摩丘陵の原風景



多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう



ボランティアと協働で育み、伝える地域の田んぼ活動



田んぼに子どもの元気な姿が戻ってきた!

感染症対策を徹底した上で、3年ぶりに小山田小学校、小山田南小学校の5年生を中心とする子どもたちが田んぼ活動を再開!初めて参加する子どもも多く、「土がつめたい!」「はだして歩くの気持ちいい」と作業を楽しみながら、地域に残る稲作文化を体験。



昔ながらの
里山の風景を
残そう!



かかし作りも復活
田んぼを守ります

年間の参加者 **1,161**人!

3年ぶりの「収穫祭」は餅つきを景気よく!

ついた餅はすべて完売! サービスセンター内外では「レンジャーによるその場でガイド」「わらない工作の実演」「どんぐり工作」「ヒンメリ工作」も実施。



昨年度比140%!

収穫祭の参加者 **320**人



顔出しパネルは
子どもたちに大人気!

顔出しパネルの参加者 **50**人

Twitterインプレッション **1,530**回



たまきようりゅう
デビュー★

大人気! 小山田緑地産稲わらで「わらない」の出張講座



初めての町田市立公園への
出張も大好評

町田市の公園での参加者 **21**人



福祉施設での参加者 **13**人



特別支援学級での参加者 **27**人

近隣小学校の特別支援学級、福祉施設、町田市の公園に飛び出し、伝統的な「わらない」の技法を伝授。地域の稲作文化を伝える機会として好評!



里山環境を生かして園内発生材をまるごと再利用！



発生材で季節の風物詩を演出

ヒンメリ工作ではアズマネザサ、どんぐり工作では、どんぐり、松ぼっくり、ミニ門松づくりでは真竹、孟宗竹、稲わらを利用。七夕では笹、十五夜ではススキを配布。

好きな時に来て、思い思いにクラフト体験♪

発生材を使った工作教室を年3回、各1箇所程度開催。「平日しか来れないから助かる」「周りに人がいないのはありがたい」と感謝の声多数！



間伐した竹は
小山内裏公園で
七草の入れ物に使うぞ！



ヒンメリ工作の参加者 **113**人



どんぐり工作の参加者 **120**人



ミニ門松工作の参加者 **75**人

みんなで守り、育て、伝える生物多様性豊かな里山環境



ボランティアの力を借りて

計画的な植生管理や観察会を協働で実施！
貴重な在来種を軸とした協働体制で里山環境を保全し、SNSやセルフガイドツールなどでも普及啓発！



観察会



外来種駆除

社内外のプロと連携して

外部専門家の助言を受け、本園のエコパッチの改修に着手！
光が丘公園での社内研修の成果として設置したバードパスでは、早速小鳥たちの姿を確認！
生物多様性豊かな環境を観察しやすいスポットを創出！



外部専門家の環境調査



バードパスの設置

事件・事故の再発防止で安心・安全な園内環境を提供



警察とタッグを組んで夜間の焚火を防ぐ！

11月の夜、園内で焚火が発生。夜間に園内で遊ぶ少年グループの目撃情報があり、警察と連携して近隣の学校へ注意喚起を実施。
本園各入口6箇所には、夜間でも目を引く蓄光素材を使った「たき火禁止」の看板を設置して、再発防止を徹底！





小山内裏公園

所在地：町田市、八王子市／開園面積：45.92ha

人と自然の共生モデル
ニュータウンに残された
「聖域」



多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう

自然と本に触れあう「里山移動図書館」の拡充



絵本の世界へ「アートワークショップ」

地域で活動するNPOと連携し、演劇ユニットの進行で絵本を題材にしたお芝居遊びを行うアートワークショップを初開催。

参加者全員から、絵本の世界に入り込み親子で触れあう体験が素晴らしいと感激の声が！



キャラクターになりきって
心と体を動かそう♪

ネズミの親子さん、
朝ごはんを
探しに行こう

本と触れ合う「パークライブラリー」

地元図書館や消防署、福祉施設と連携して、子ども向けの大規模読書イベントを初開催。草の上で本を読んだり、丘陵地レンジャーと自然を観察したり、はしご車に乗ったり、公園ならではの読書体験が大好評！



草の上で
絵本を読むの
気持ちいいね

参加者 **230**人

コロナ禍で育んだ地域のつながり「いきいき交流の集い」



みんなが参加者「四季のコンサート」

フラダンス、エレクトーン、音楽ユニットが新たに加わり、以前より参加グループ数は8倍に！

出演者が季節に合わせた演目、衣装、演出を工夫し、ダンスあり、手話ありで、

参加者も出演者気分♪ 年**5**回 **483**人参加



夏は幻想的な
キャンドルナイトコンサート

祝☆活動再開！南大沢学園@里山マルシェ

都立特別支援学校南大沢学園の生徒たちが、園内での就労体験を3年ぶりに再開。

生徒たち手づくりの焼菓子販売には、毎回、地域の人々が多く集まり、すぐに完売するほど大盛況！

緊張しながら接客する生徒たちも、自然と笑顔に・・・。



地域みんなが応援団

ずっと再開を
待っていたよ♡



学生のアイデアで創出「サテライトサンクチュアリ」



公園入口近くに 誰でも見られる水辺環境を

令和3年度に東京都立大学観光科学科の学生と策定した計画に基づき、同大学「いきもの！サークル東京」の学生の力を借りて、サンクチュアリの環境を再現。



子どもたちを保全の担い手に「キッズレンジャー体験」



ナラ枯れ後の雑木林を考える 近隣小学校の総合学習の時間

南大沢小学校の体験型課外学習で、ナラ枯れ被害と雑木林の保全作業を学ぶ特別授業を2回実施。

どんぐりポット苗作成、コナラ苗木移植を体験して、子どもたちの郷土愛を醸成！

サクラの希少種を育む ちょっとボランティア

親子5組10人が参加し、希少なタマノホシザクラとヤブザクラの挿し木苗育成を初めて実施。

希少なサクラを育てる体験を通じて、地域の中の大切なサクラの名所として定着へ！



社内外の知見を活かしてゲンジボタル生息環境改善



ホテルの住みやすい水辺環境づくり

外部専門家の助言に基づき、令和3年度末から約1年かけて、大田切北サンクチュアリ内の小川とため池の整備作業を実施。谷戸全体の保水力が高まり、ゲンジボタルの生息環境が改善！

1日の最多発光数 **26** 頭

ホテル観察会の実現に向けて

ゲンジボタルの発生数が安定してきたので、令和5年度以降のホテル観察会実施を検討中。多摩丘陵グループ内公園の丘陵地レンジャーが現地を集結、発生状況を確認しながらキックオフミーティングを実施。





桜ヶ丘公園

所在地：多摩市／開園面積：33.99ha

里山環境を活かして
地域に愛される丘陵地公園



多摩丘陵公園キャラクター
たまきよりりゅう

地域をつなぐ“公園時間”「SATOYAMAアウトドアライフ」



毎月第2日曜日は桜ヶ丘公園で過ごそう！

地域と育む居場所づくりへ

地域住民の憩いの場づくり「SATOYAMAアウトドアライフ」は2年目に入り、定期開催イベントとして定着！紙芝居やぬり絵、発生材を活用した竹細工、丘陵地レンジャーによる自然体験プログラムなど、誰もが参加しやすく、気軽に楽しめるコンテンツを提供。

9月から、外部協力者の募集を開始。地域で活動する団体、図書館、大学等へ働きかけ、12月には近隣自治会の子ども会役員による協力実現！令和5年度以降の参画に向け、見学に訪れる団体も…今後の展開に乞うご期待♪

年間約 **270** 人参加

竹を利用した
遊びが大人気



ムクロジの実
ぶくぶくぶく...



読んでいるわたしが
子どもたちに
癒されました♡



地域の子ども達を育む環境教育アクティビティの提供



特別支援学校との連携も4年目に

令和4年度も、都立多摩桜の丘学園知的障害教育部門小学部の全6学年約**130**人に環境教育アクティビティを提供。

3年生から4年生へと続く連続プログラムでは、全5回の授業を通じて「里山レンジャー」に認定。3回目は初めて保護者参観を実施し、子どもたちの成長を実感していただく機会に。

小学校との合同プログラム初開催！

4年生の4回目は、初めて連光寺小学校3学年との連携授業を実現！子どもたちの自由な発想で、発生材を使った「生きもののすみか」を作成。完成した「生きもののすみか」は7日間展示し、保護者だけでなく、公園利用者にも好評。

生きもの観察

さとやまくらぶ
清掃

木の実で
楽器づくり



いろいろな体験を通じて
すくすく育つ子どもたち

タヌキが
住むのかな？



みんなで
協力しよう♪

「生きもののすみか」づくり



歴史ある「桜ヶ丘」の風景、里山景観を未来へ…



地元商工会議所と連携した 宇宙桜・ヤマザクラの後継樹育成

多摩商工会議所の協力で植樹した宇宙桜、ヤマザクラの後継樹育成も4年目に入り、苗は良好に生育中。さらに、「さくらまつり」代替のパネル展示や商工会議所主催の写真展参加などでも連携し、サクラの名所としての桜ヶ丘公園アピール！



宇宙桜パネル展示

近隣小学校の子ども達と守る里山景観

多摩市立連光寺小学校との田んぼ活動、竹林管理も継続。田んぼでは田植え、生きもの観察、稲刈り、竹林ではタケノコの収穫、伐採を体験。ボランティアとの協働により、伝統的な里山文化、景観、環境を、地域に住む子どもたちに、しっかり継承！



持続可能な里山暮らしを体験！

気を付けて作業しよう



田植え

竹林伐採体験

都民協働で生物多様性環境向上！公園の魅力としてPR



ボランティア・インターンシップ学生と

強敵外来種を駆除

丘陵地ボランティアとはワルナスビ、セイタカアワダチソウ、近隣大学のインターンシップ学生とはオオブタクサを除去。種をつける前に除去することで繁殖を防ぎ、貴重な在来種の生育環境を保全。



丘陵地ボランティア

豊かな公園環境の見本園「野草園」の整備

30年以上に亘る丘陵地ボランティア、雑木林ボランティアとの活動により、生物多様性豊かな園内環境が向上。丘陵地レンジャーが中心となって、サービスセンター近くの「野草園」の除草、ササ刈りなどに取り組み、園内の希少種・注目種を中心に季節の草花が楽しめるように整備開始。



近隣大学生

シモバシラのツイートインプレッション数 1,576件



とても貴重な湿地・水辺環境が保たれていますね



外部専門家による

継続的な環境調査

令和4年度も、東京大学総合研究博物館協力者による第三者評価を実施。トンボ数種を指標種・目標種とした保全活動の結果、多摩川つながる水辺・湿地環境が良好と高評価！